

Garment Creator 2

活用ガイド

商標

Mac、macOS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Illustrator、Photoshop、Reader は、Adobe（アドビ）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

マニュアルの見方	5
マークの意味	5
掲載画面図	5
PDF マニュアルの見方	5
使い方の流れ	6
メイン画面の構成	7
基本的な使い方	9
プリンターの選択	9
インク量調整	9
調整前の準備	9
インク量調整の手順	9
インク量調整チャートの見方とインク濃度入力方法	10
調整結果をお気に入りに登録	12
生地色（T シャツタイプ）の選択	13
T シャツタイプの概要	13
T シャツタイプの選択手順	14
画像の配置	15
配置の種類と操作	15
レイアウト設定の結果をお気に入りに登録	17
ジョブの送信と印刷	18
ジョブの送信と印刷の手順	18
USB メモリーが装着されているプリンターにジョブを送信したとき（リピート印刷）	19
ジョブをコンピューターや USB メモリーに書き出す	19
作業状態 / 作業結果の画像の保存と読み込み	20
複数画像の配置方法	21
画像の追加とコピー	21
画像のレイアウト設定	21

文字の追加とコピー	22
不要な画像、文字の削除	23
複数画像編集モードの終了方法	23

印刷設定 24

色置換で変化を持たせる 27

メニューの説明 29

ファイル	29
編集	30
表示	30
ジョブ	31
プリンター	31
オプション	32
ヘルプ	32

こんなときには 33

背景画像をカスタマイズする	33
T シャツの色を変更する	33
T シャツのサイズを変更する	33
任意の背景画像に切り替える	34
背景画像の変更結果を登録する	34

定型の印刷を簡単に行う（ホットフォルダー） 35

ホットフォルダーとは	35
インストール手順	35

ジョブの確認と読み込み（ジョブ履歴） 36

簡易コスト見積もり	38
準備（経費の登録）	38
見積もり手順	39

本ソフトウェアをドローソフトから呼び出して使う 40

プラグインソフトの組み込み方	40
起動方法	40

本ソフトウェアをアンインストールする	41
Windows 8.1/10 の場合	41
Windows 11 の場合	41
Mac の場合	41
データベースファイルの削除	41

付録 42

対応画像データ形式	42
ユーザープロファイル作成時の留意点	42

マニュアルの見方

マークの意味

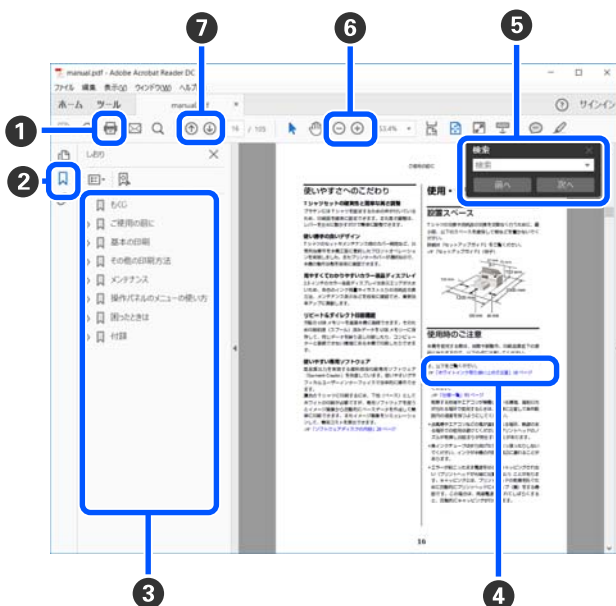
！重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面図

掲載している画面図が、お使いのものと若干異なる場合がございます。また、予告なしに変更されることがございます。ご了承ください。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader DC で表示したときを例に説明します。



- 1 PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- 2 クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- 3 タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- 4 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。

Mac の場合

【command】キーを押したまま【←】キーを押します。

- 5 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac の場合

「編集」メニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- 6 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「マーカーズーム」を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac の場合

「表示」メニュー - 「ズーム」 - 「マーカーズーム」の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- 7 前ページ/次ページを表示します。

使い方の流れ

本ソフトウェアでジョブを作成して印刷するまでの基本的な作業の流れは、以下の通りです。

1 準備

プリンターの選択	通常は、初回のみ行います。 プリンターを複数台お持ちでプリンターを変更して印刷するときにも行います。 🔗 「プリンターの選択」9 ページ
----------	--



インク量調整	最適な状態で印刷するために、初めて印刷する T シャツはインク量調整をしてから実際の印刷を開始することをお勧めします。 T シャツの素材や織りによりインクの浸透性などの特性が異なります。素材やメーカーの違う T シャツに変えて印刷するたびに事前にインク量調整の実施をお勧めします。 インク量調整には、実際に印刷するのと同じ T シャツを 1 枚使用します。 🔗 「インク量調整」9 ページ
--------	---

2 ジョブ作成

生地色（T シャツタイプ）の選択	印刷する T シャツの色を生かしてインクの使用量を効率的に印刷するために、適切な T シャツタイプを選択します。 🔗 「生地色（T シャツタイプ）の選択」13 ページ
------------------	--



画像の配置	印刷する画像の位置や大きさ、向きなどをプレビューエリアで確認しながら設定します。 🔗 「画像の配置」15 ページ 印刷に使用する画像は、ドローソフトなどで事前に作成してご準備ください。本ソフトウェアで利用できる画像データの形式は、以下をご覧ください。 🔗 「対応画像データ形式」42 ページ
-------	--



プリンターにジョブを送信	印刷枚数を指定して選択しているプリンターにジョブを送信します。 🔗 「ジョブの送信と印刷」18 ページ
--------------	--

3 印刷（プリンターで操作）

印刷実行	T シャツをプラテンにセットして印刷を実行します。 🔗 プリンターに付属のマニュアル
------	---

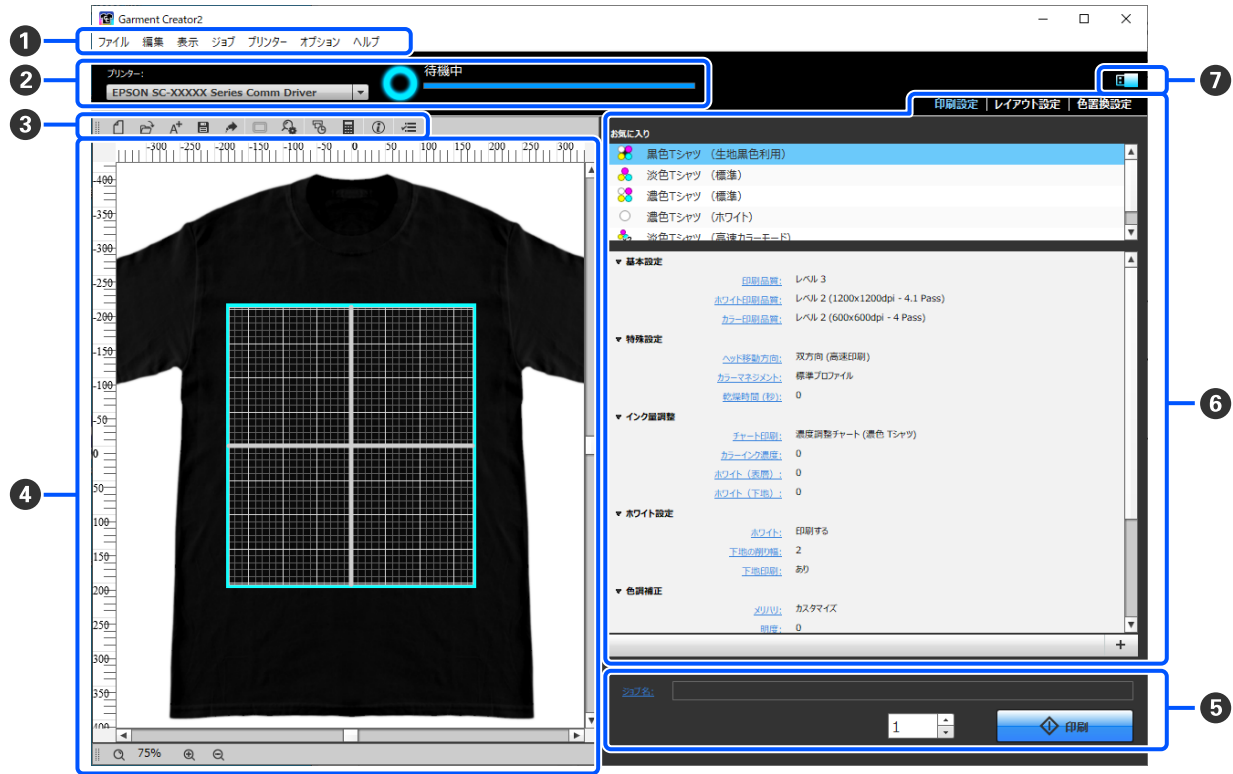
！重要

USB でコンピューターとプリンターを接続しているときは、本ソフトウェアと他のソフトウェア RIP の両方を起動して使用しないでください。
プリンターがエラーになったり、正しく印刷されなかったりすることがあります。

メイン画面の構成

本ソフトウェアを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。

メイン画面の構成と機能は下表の通りです。



部位名称	機能
① メニューバー	各メニューから操作や設定が行えます。 「メニューの説明」 29 ページ
② ステータスエリア	作成したジョブの送信先プリンター（印刷するプリンター）の選択と、選択したプリンターのステータスが表示されます。 ▼ をクリックして、ドロップダウンリストから送信先プリンターを選択します。 「プリンターの選択」 9 ページ 選択したプリンターのステータスは、メッセージとアイコンで表示されます。メッセージの詳細は、プリンターの操作パネルの画面をご覧ください。 アイコンはメッセージの内容に応じて以下の通り変わります。 🟢: 印刷可能状態（待機中）です。アイコンが回転しているときは、印刷中やクリーニング中などでプリンターが動作中です。 🔴: 電源が入っていない、または接続されていません。 ⚠️: 警告等が発生しています。 ❌: エラーが発生しています。 🟢 ⚠️: 表示中は、プリンターにジョブを送信できます。
③ ツールバー	アイコンをクリックすると、メニューバーの各項目を直接呼び出せます。アイコン上にマウスカーソルを合わせるとメニューの項目名が表示されます。
④ プレビューエリア	画像の配置や大きさ、向きなどを決める際は、このプレビューエリアで確認しながら行います。水色の枠内が印刷範囲です。画像を読み込むと枠内に表示されます。 プレビューエリア下部の 🔍 または 🔍 をクリックするたびにプレビューエリアの表示を拡大/縮小できます。 🔍 または [***%] の部分をクリックすると拡大率を指定して表示を拡大/縮小できます。

メイン画面の構成

部位名称		機能
⑤	ジョブ設定	【印刷】 ボタンをクリックすると ② で選択したプリンターにプレビューエリア（④）でレイアウトした画像がジョブとして送信されます。 【ジョブ名】 には読み込んだ画像のファイル名が表示されています。名称を変更するには、【ジョブ名】 をクリックします。 複数枚印刷するときは、数値を直接入力するかスピンボタンで印刷枚数を設定します。
⑥	設定タブ・設定エリア	プレビューエリアに読み込んだ画像の印刷設定、レイアウト設定、色置換設定が行えます。上部のタブをクリックすると、選択したタブに応じて設定エリアの内容が変わります。
⑦	USB メモリーの状態	選択しているプリンターに USB メモリーを装着している/いないが以下の通りアイコンで表示されます。  : 装着しています。  : 未装着です。

基本的な使い方

プリンターの選択

作成したジョブの送信先プリンター（印刷するプリンター）を選択します。

複数台のプリンターを接続しているときは、以下の手順でプリンターを切り替えてジョブの送信先を変更できます。

- 1 ステータスエリアで  をクリックします。



- 2 ドロップダウンリストから送信先プリンターを選択します。

本ソフトウェアに対応していないプリンターは表示されません。

！重要

Windows 環境でドロップダウンリストにプリンターが表示されないときは、プリンターの通信ドライバーがお使いのコンピューターにインストールされていないのでインストールしてください。インストールの詳細は以下をご覧ください。

 『セットアップガイド』（プリンターに付属）

インク量調整

T シャツの素材や織りにより、インクの浸透性が異なるなど特性が異なります。素材やメーカーの違う T シャツに変えて印刷するたびに事前にインク量調整の実施をお勧めします。

調整前の準備

インク量調整は、以下の通り実際に印刷するときの状態にして実施します。

- 実際に印刷する T シャツを使う。
- T シャツは前処理を行う。（ホワイトインク使用時）
- 実際に印刷で使用するブラテンを取り付ける。
- ブラテンの高さ調整を実施する。

T シャツの前処理やブラテンの準備の詳細  プリンターに付属のマニュアル

インク量調整の手順

- 1 設定タブで【印刷設定】が選択されていることを確認して【お気に入り】で印刷する T シャツに応じた T シャツタイプを選択します。

T シャツタイプの詳細  「生地色（T シャツタイプ）の選択」13 ページ



- 2 設定エリアで【インク量調整】の【チャート印刷】をクリックして【はい】をクリックします。

プリンターの操作パネルがプレビュー表示になり、◇が点灯します。

3 プリンターのプラテンに T シャツをセットして ◀ を押すとチャートが印刷されます。

T シャツのセット方法 ▶ プリンターに付属のマニュアル
印刷が終了するまでお待ちください。

4 ヒートプレスまたはオープンでインクを定着させます。

▶ プリンターに付属のマニュアル

5 チャートを確認して選択したブロックの値を設定エリアに入力します。

チャートは、お使いの機種や手順 1 で選択した T シャツタイプにより異なります。
チャートの見方や設定エリアの入力方法の詳細は、次項をご覧ください。
調整した結果はプレビューエリアでは確認できません。

インク量調整チャートの見方とインク濃度入力方法

お使いの機種や「お気に入り」で選択した T シャツタイプにより、印刷されるチャートが異なります。
各チャートの見方と設定エリアのインク濃度の入力方法は以下の通りです。

SC-F2250 の場合

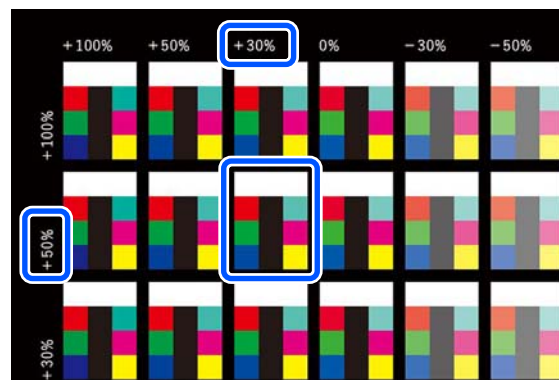
黒色 T シャツ（生地黒色利用）・濃色 T シャツ（標準）選択時

全ての色でにじみがなく色の濃さが適切なブロックを 1 つ選択します。
選択したブロックのカラーインク濃度とホワイト（下地）インク濃度の値を確認します。

参考

チャートの上端の数値がカラーインク濃度で、チャートの左端の数値がホワイト（下地）インク濃度です。

例)



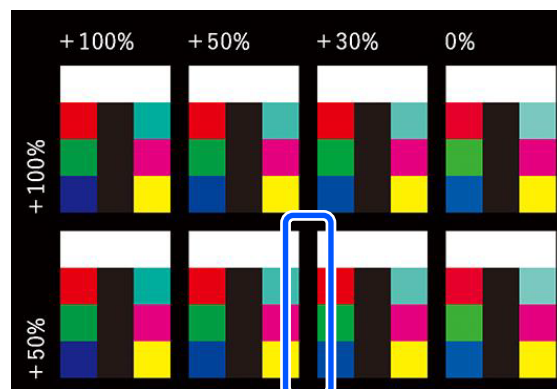
設定エリアの「カラーインク濃度」、「ホワイト（下地）」をそれぞれクリックして、チャートで確認したブロックの値を入力します。

「カラーインク濃度」：選択したブロックのカラーインク濃度の値を入力

「ホワイト（下地）」：選択したブロックのホワイト（下地）インク濃度の値を入力

参考

- 選択したブロックのインク濃度値と、隣り合うブロックのインク濃度値の間の値も入力できます。
例えば、下図のようにカラーインク濃度を+30%のブロックより濃くして+50%のブロックより薄くしたいときは、「カラーインク濃度」に 40 などの値を入力します。



- 「ホワイト（表層）」は以下の場合などに入力します。
- 画像データの白（R,G,B=255,255,255）部分の印刷を、選択したブロックの白の部分より濃くしたいとき。
- ホワイトインクが画像データの白（R,G,B=255,255,255）部分からあふれて、他の色でにじみが発生しているとき。

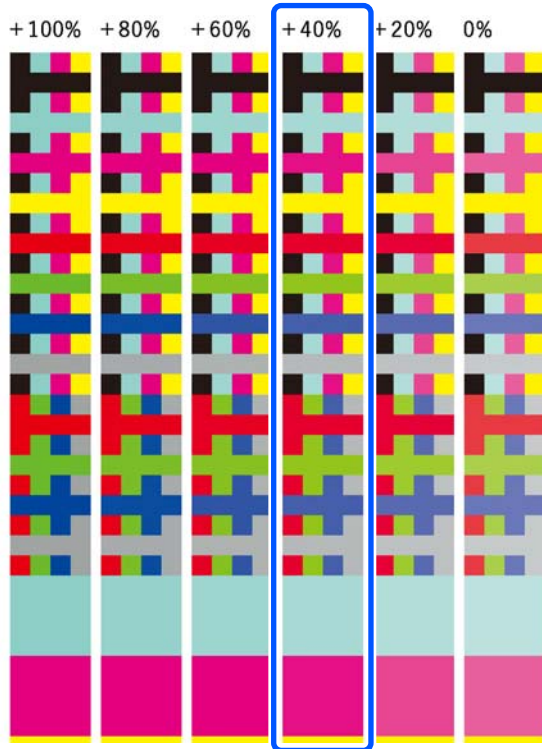
▼ インク量調整

チャート印刷: 濃度調整チャート (黒色 T シャツ)

カラーインク濃度:	30	-80%	+100%
ホワイト (表層):	0	-80%	+100%
ホワイト (下地):	50	-80%	+100%

淡色 T シャツ（標準）・淡色 T シャツ（高速カラーモード） 選択時

全ての色で最も適切なブロックを 1 つ選択します。
 チャートの上半分のにじみを確認し、チャートの下半分で色の濃さを確認します。
 選択したブロックのカラーインク濃度の値を確認します。
 例)



設定エリアの「カラーインク濃度」をクリックして、チャートで確認したブロックの値を入力します。
 「カラーインク濃度」：選択したブロックのカラーインク濃度の値を入力



SC-F3050 の場合

黒色 T シャツ（生地黒色利用）・濃色 T シャツ（標準） 選択時

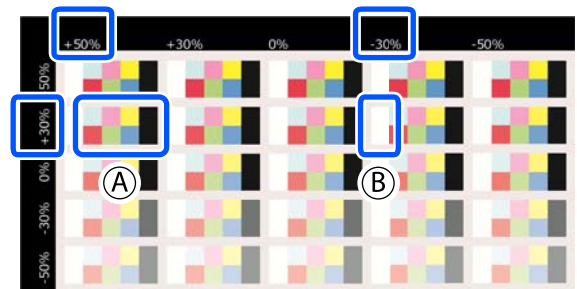
白 (R,G,B=255,255,255) を除くカラーの部分と、白 (R,G,B=255,255,255) の部分でそれぞれ適切なブロックを選択します。
 以下の例では、カラーの部分は (A) のブロックを選択し、白の部分は (B) のブロックを選択しています。
 カラーのブロック (A) では、対応するカラーインク濃度と、ホワイトインク濃度の両方の値を確認します。

ホワイトインク濃度は、自動生成した下地の印刷時に使用します。
 白のブロック (B) では、対応するホワイトインク濃度を確認します。こちらは、画像データの白部分の印刷時に使用します。

参考

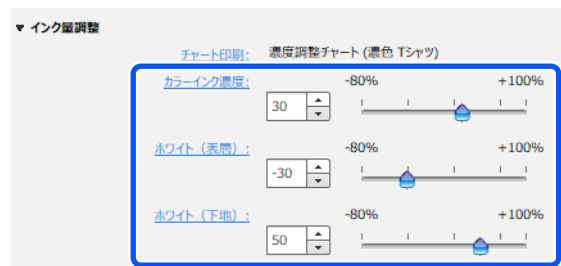
チャートの左端の数値がカラーインク濃度で、チャートの上端の数値がホワイトインク濃度です。

例)



設定エリアの「カラーインク濃度」、[ホワイト（表層）]、[ホワイト（下地）] をそれぞれクリックして、チャートで確認したブロックの値を入力します。

「カラーインク濃度」：カラーのブロック (A) のカラーインク濃度の値を入力
 「ホワイト（表層）」：白のブロック (B) のホワイトインク濃度の値を入力
 「ホワイト（下地）」：カラーのブロック (A) のホワイトインク濃度の値を入力



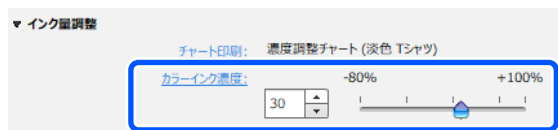
淡色 T シャツ（標準） 選択時

全ての色で最も適切なブロックを 1 つ選択します。
 選択したブロックのカラーインク濃度の値を確認します。
 例)



設定エリアの「カラーインク濃度」をクリックして、チャートで確認したブロックの値を入力します。

【カラーインク濃度】：選択したブロックのカラーインク濃度の値を入力



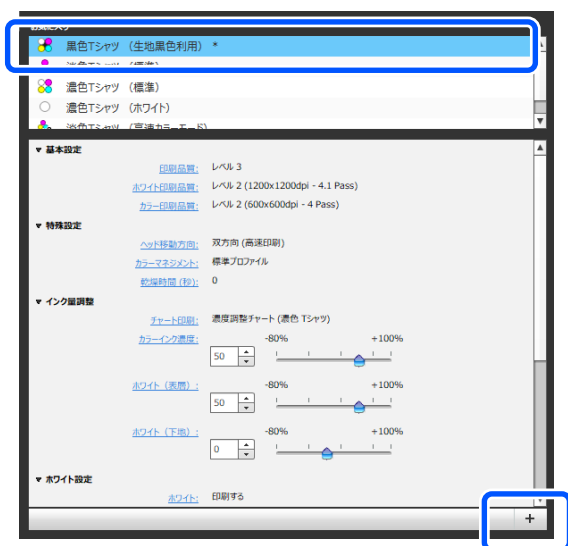
調整結果をお気に入りに登録

ここで調整した結果は、本ソフトウェアを終了するまで有効です。

次回起動時にも引き続き同じ調整結果の濃度で印刷したいときは、現在の設定状態を「お気に入り」に登録します。以降「お気に入り」から選択するだけで調整結果の状態で印刷できます。

1 インク量調整したTシャツタイプが選択されていることを確認して **+** をクリックします。

インク量調整したTシャツタイプ名の右には、*が表示されています。*は、元の状態から設定が変更されていることを示しています。



2 名称を入力するウィンドウが表示されるので、わかりやすい名称を入力して【適用】をクリックします。

【お気に入り】のエリアに追加したTシャツタイプが表示されます。

追加したTシャツタイプを変更・削除・コピーしたいとき

追加登録したTシャツタイプを選択してダブルクリック、または右クリックして表示されたメニューから目的の機能を選択します。



あらかじめ用意されているTシャツタイプは削除できません。

生地色（Tシャツタイプ）の選択

Tシャツタイプの概要

印刷するTシャツの生地色を活かしてインクの使用量を効率的に印刷できるように、あらかじめ以下のTシャツタイプを用意しています。

適切なTシャツタイプを選択してください。

SC-F2250
• 黒色Tシャツ（生地黒色利用） • 淡色Tシャツ（標準） • 濃色Tシャツ（標準） • 濃色Tシャツ（ホワイト） • 淡色Tシャツ（高速カラーモード）
SC-F3050
• 黒色Tシャツ（生地黒色利用） • 淡色Tシャツ（標準） • 濃色Tシャツ（標準） • 濃色Tシャツ（ホワイト）

なお、ジョブの送信先プリンターのプリンターモードの設定により、印刷できるTシャツタイプが以下のように異なります。

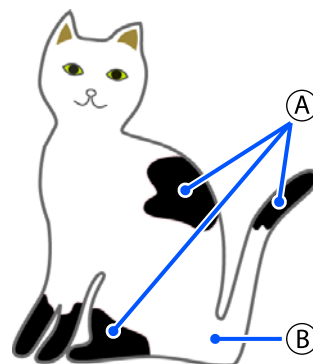
SC-F2250 の場合

- ホワイトインクモード選択時：淡色Tシャツ（高速カラーモード）を除く、全タイプ印刷可能
- カラーインクモード選択時：淡色Tシャツ（標準）のみ印刷可能
- 高速カラーモード選択時：淡色Tシャツ（高速カラーモード）のみ印刷可能

SC-F3050 の場合

- ホワイトインクモード選択時：全タイプ印刷可能
- カラーインクモード選択時：淡色Tシャツ（標準）のみ印刷可能

以下の画像を印刷した場合を例にTシャツタイプを説明します。



Ⓐ：黒（R,G,B = 0,0,0）

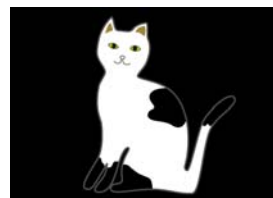
Ⓑ：白（R,G,B = 255,255,255）

黒色Tシャツ（生地黒色利用）

画像データの黒（R,G,B = 0,0,0）の部分には黒インクが吐出されませんので、黒インクの消費量を抑えることができます。

本ソフトウェアで黒（R,G,B = 0,0,0）と認識されるのは、ドローソフトのカラーモードをRGBに設定して色空間をsRGBに設定して作成したデータに限ります。

黒色Tシャツ印刷例



ピンクのTシャツ印刷例



例の画像のⒶは、黒のインクが吐出されないのでTシャツの生地の色になります。

黒（R,G,B = 0,0,0）を除くカラーの部分には、使用するカラーに応じた濃さで自動的に白色の下地が作成されます。

印刷時は、自動生成した下地をホワイトインクで印刷後、その上に重ねてカラーインクで印刷します。このため、カラーが発色よく印刷できます。

淡色Tシャツ（標準）

ホワイトインクを使わずに、カラーインクのみを使って印刷します。

ホワイトインクを使用しませんので、ホワイトインクの消費量を抑えることができます。印刷結果はTシャツの色により異なります。

白色Tシャツ印刷例



ピンクのTシャツ印刷例



例の画像の⑧は、ホワイトインクが吐出されないでTシャツの生地の色になります。
カラーTシャツに画像データの色のまま印刷したいときは、Tシャツタイプで「濃色Tシャツ（標準）」を選択します。

濃色Tシャツ（標準）

ホワイトインクとカラーインクを使って画像データの彩色のまま印刷します。

黒色Tシャツ印刷例



ピンクのTシャツ印刷例



カラーの部分（黒（R,G,B = 0,0,0）を含む）には、使用するカラーに応じた濃さで自動的に白色の下地が作成されます。

印刷時は、自動生成した下地をホワイトインクで印刷後、その上に重ねてカラーインクで印刷します。このため、カラーが発色よく印刷できます。

濃色Tシャツ（ホワイト）

ホワイトインクのみを使って印刷します。
写真を白の濃淡で印刷する際に適しています。

濃色Tシャツ（標準）



濃色Tシャツ（ホワイト）



淡色Tシャツ（高速カラーモード）

プリンターのプリンターモードで高速カラーモードを選択しているときは、このTシャツタイプで作成したジョブのみを送信できます。

Tシャツタイプの選択手順

1 設定タブで「印刷設定」を選択します。
設定エリアが印刷設定に切り替わります。

2 「お気に入り」で印刷するTシャツに応じたTシャツタイプを選択します。



画像の配置

配置の種類と操作

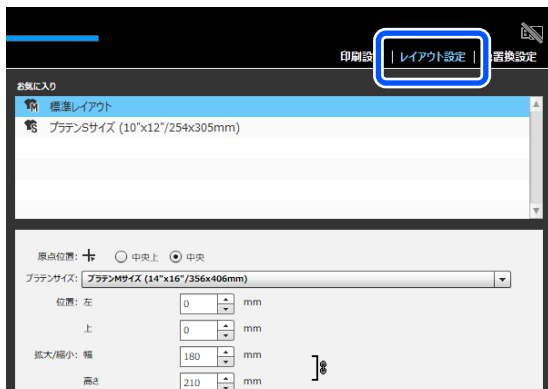
プラテン上のTシャツにどのように画像を印刷するかをプレビューエリアで確認しながら設定します。

- 1 ツールバーの （開く）をクリックして印刷する画像をプレビューエリアに読み込みます。または、プレビューエリア上に画像ファイルをドラッグ&ドロップします。

プレビューエリアに画像が表示されます。
水色の枠は、プラテンを示しています。水色の枠内が印刷範囲です。
枠内で画像を配置します。

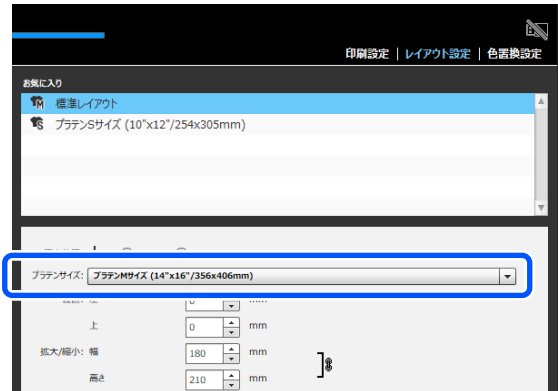


- 2 設定タブで「レイアウト設定」を選択します。
設定エリアがレイアウト設定に切り替わります。



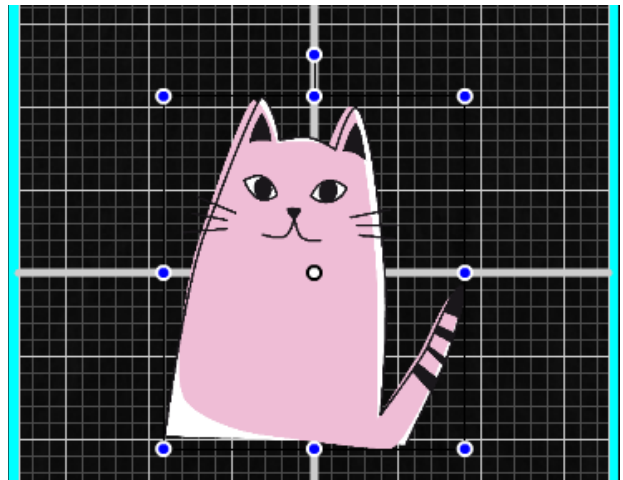
- 3 プラテンサイズを決定します。

通常は、M サイズに設定されています。
異なるサイズのプラテンに印刷するときは、設定エリアの「プラテンサイズ」でプラテンの種類を変更します。



- 4 プレビューエリアの画像をクリックします。

画像に編集枠が表示され位置やサイズの編集ができるようになります。

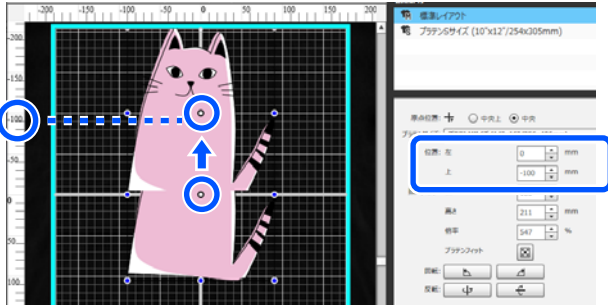


位置を変更したいとき

以下の3通りの指定ができます。

- 画像をドラッグして指定する
画像上にマウスポインターを移動してポインターの右下に  が表示されたら画像をドラッグして位置を指定できます。

- 画像の中心点の位置で指定する
正確に数値で指定して位置を決めるときに適しています。
[位置] の [左] と [上] に、画像の中心点をスケールのどの目盛りの位置に移動するかを指定します。
下図のように中心点を-100 まで移動させたいときは、[位置] の [上] に [-100] と入力します。

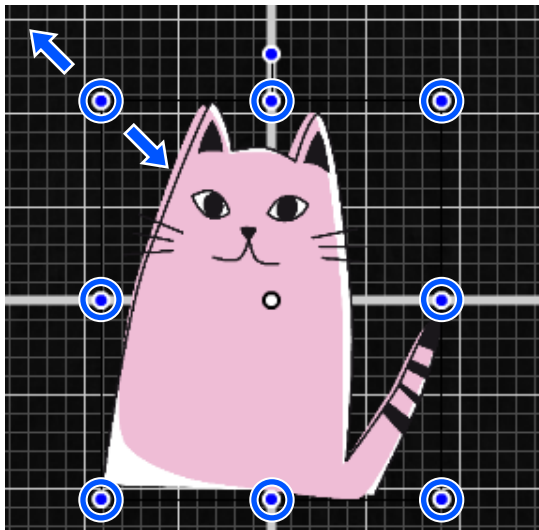


- プラテン上辺に移動する
[原点位置] で [中央上] のラジオボタンをクリックします。
ただし、[原点位置] を切り替えると回転、反転した結果がリセットされます。

拡大/縮小したいとき

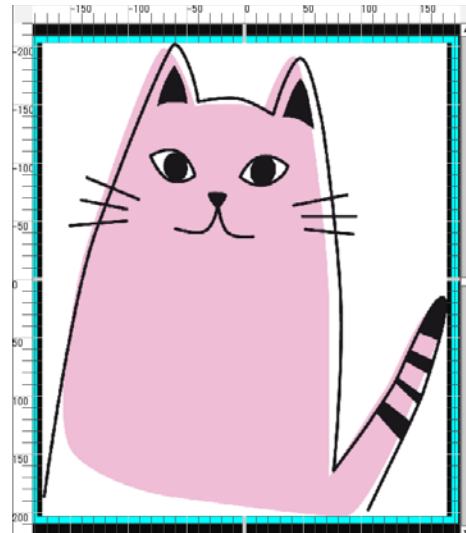
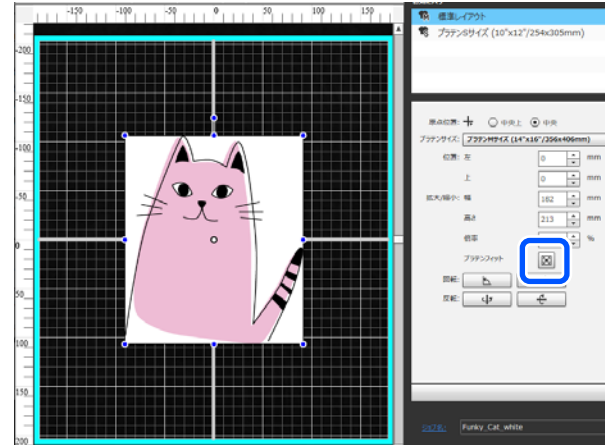
以下の 4 通りの指定ができます。
どの方法も画像の縦横比は固定されます。

- ハンドルをドラッグして拡大/縮小
画像の編集枠線上のハンドル () にマウスポインターを合わせてドラッグして拡大/縮小します。



- サイズを指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [幅] または [高さ] に拡大/縮小後のサイズを入力します。
- 倍率を指定して拡大/縮小
[拡大/縮小] の [倍率] に拡大/縮小の倍率を入力します。

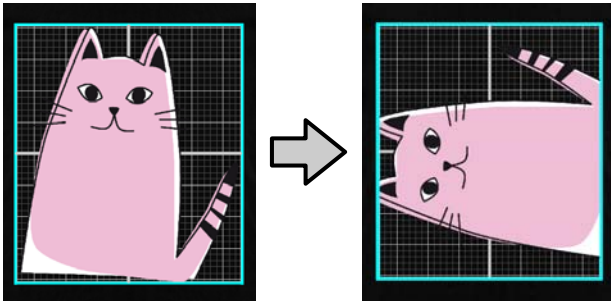
- 印刷範囲いっぱいになるように拡大/縮小 (プラテンフィット)
 をクリックすると、自動で印刷範囲いっぱいになるように拡大/縮小されます。
元のサイズに戻すときは、[倍率] を 100% に設定します。
プラテンフィットに拡大の例



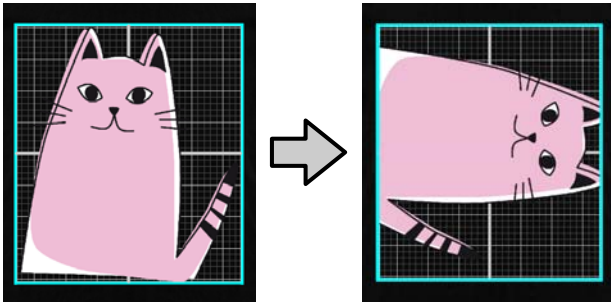
回転したいとき

[回転] のボタンを押すたびに時計回り、あるいは反時計回りに画像を 90 度単位で回転できます。
画像の編集枠の回転ハンドルをドラッグして回転させることもできます。

 クリック時の例



 クリック時の例

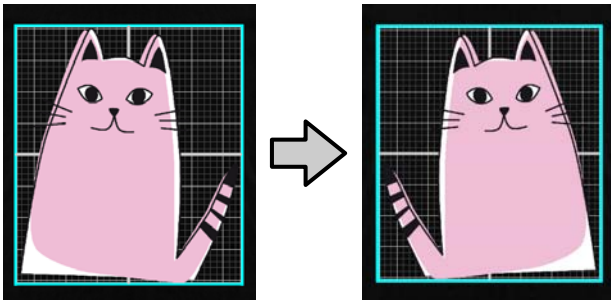


反転したいとき

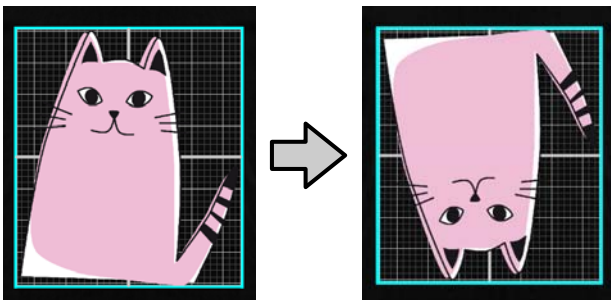
「反転」のボタンを押すたびに水平、あるいは垂直に反転できます。

画像の編集枠のハンドルを対向するハンドルの位置までドラッグして反転させることもできます。

 クリック時の例



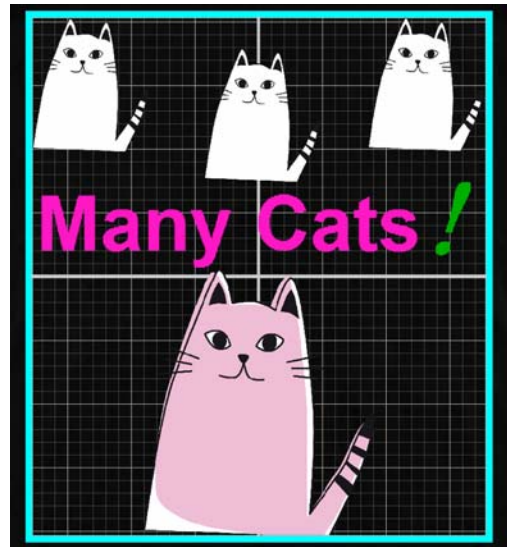
 クリック時の例



複数画像の組み合わせや文字入力をしたいとき

複数画像編集モードでは、複数画像の読み込み、文字の入力、配置ができます。

 「複数画像の配置方法」21 ページ



レイアウト設定の結果をお気に入りに登録

レイアウト設定した結果は、以下の操作をするまで有効です。

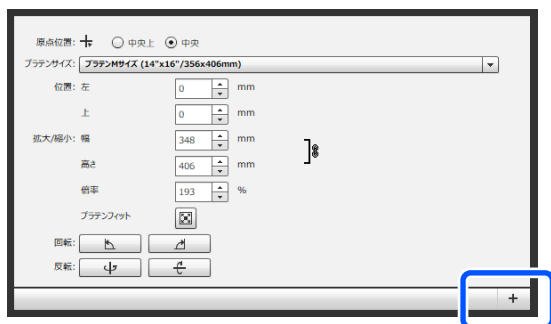
- 別の画像をプレビューエリアに読み込む
- 本ソフトウェアを終了する

次回起動時、あるいは別の画像を読み込んだときも同じレイアウト設定にしたいときは、現在の設定状態を「お気に入り」に登録します。以降「お気に入り」から選択するだけでプレビュー上の画像が同じレイアウト設定になります。

参考

ブラテンフィットの設定は、登録されません。使用した画像をブラテンフィットしたときの倍率が保存されます。したがってサイズが異なる画像を読み込んだときは、ブラテンフィットになりません。対象の画像を選択して  をクリックしてブラテンフィットを再指定してください。

- 1 【レイアウト設定】の設定エリアの各設定が登録したい状態になっていることを確認して **+** をクリックします。

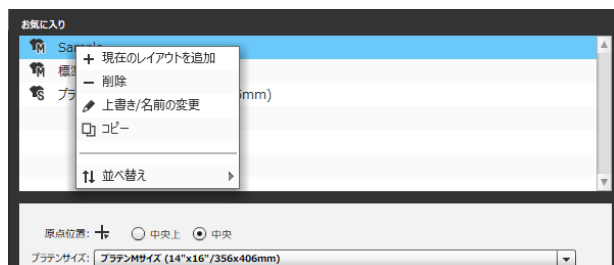


- 2 名称を入力するウィンドウが表示されるので、わかりやすい名称を入力して【適用】をクリックします。

【お気に入り】のエリアに追加したレイアウト設定が表示されます。

追加したレイアウト設定を変更・削除・コピーしたいとき

【お気に入り】で追加登録したレイアウト設定を選択してダブルクリック、または右クリックして表示されたメニューから目的の機能を選択します。



あらかじめ用意されているレイアウトは、削除できません。

ジョブの送信と印刷

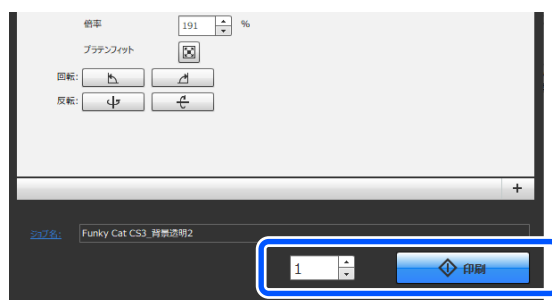
ジョブの送信と印刷の手順

設定が完了したら、プリンターにジョブを送信します。

！重要

USB でコンピュータとプリンターを接続しているときは、本ソフトウェアと他のソフトウェア RIP の両方を起動して使用しないでください。
プリンターが【コマンドエラー】になったり、正しく印刷されなかったりすることがあります。

- 1 設定エリア下部で印刷部数を指定して【印刷】ボタンをクリックします。



- 2 プリンターがジョブの受信を完了すると、プリンターの操作パネルがプレビュー表示になり、◇が点灯します。

T シャツのセットや印刷の詳細は、プリンターに付属のマニュアルをご覧ください。

印刷ボタンが無効のとき

【印刷】ボタンがグレーで無効になっているときは、ジョブを送信できません。

以下を確認してください。

・プリンターのステータス

画面上部のステータスエリアに、**●** または **!** が表示されているときは【印刷】ボタンが有効でジョブを送信できます。ただし、**●** が回転中はヘッドクリーニングなどプリンターが何らかの動作中です。**●** が停止するまで待って【印刷】ボタンをクリックしてください。
○ や **✖** が表示されているときは、【印刷】ボタンは無効になります。プリンターの電源を入れる、エラーを解除する等、状態に応じた処理をしてプリンターを印刷できる状態にしてください。

- ジョブの印刷設定とプリンターのプリンターモードが合っているか

ジョブ作成時に印刷設定タブで選択した T シャツタイプとジョブ送信先のプリンターのプリンターモードが合っていないと [印刷] ボタンは無効となります。

例えば、カラーインクモードのプリンターを選択して印刷設定タブの [お気に入り] で [黒色 T シャツ (生地黒色利用)] や [濃色 T シャツ (標準)] などホワイトインクを使用するものを選択すると [印刷] ボタンが無効になります。

USB メモリーが装着されているプリンターにジョブを送信したとき (リピート印刷)

以下の機能は、ジョブの送信先プリンターに SC-F2250 をお使いのときに限り有効です。

USB メモリーを接続した状態のプリンターにジョブを送信すると、自動的に「Epson_repeat_print.prm」というファイル名でジョブが USB メモリーに保存されます。

USB メモリーに自動で保存されたジョブの再印刷方法は、プリンターに付属のマニュアルをご覧ください。

ジョブをコンピューターや USB メモリーに書き出す

本ソフトウェアをインストールしたコンピューターや、プリンターに装着している USB メモリーにジョブを書き出すことができます。

ジョブの送信先プリンターが SC-F3050 のときは、コンピューターへのジョブ書き出しのみ対応しています。ジョブをコンピューターや USB メモリーに書き出すと、以下のように必要なときにすぐ印刷ができて便利です。

コンピューターに書き出したとき

保存したジョブファイルを本ソフトウェアで開いて、すぐ送信して印刷できます。同じ画像を同じ設定でたびたび印刷するときに便利です。

また、コンピューターに装着した USB メモリーにジョブを保存することもできます。

プリンターに装着している USB メモリーに書き出したとき

プリンターに装着している USB メモリーにジョブを書き出すと、プリンターの操作パネルのメニューからジョブを選択して直接印刷できます。印刷部数は操作パネルで設定します。

必要な部数を印刷し終わったら別のジョブを選択して印刷するなど、プリンターの近くにいる担当者が進捗に応じて作業を進められます。また、その日印刷するジョブを全て USB メモリーに書き出しておけば、印刷作業に集中できます。

本ソフトウェアがインストールされたコンピューターとプリンターが離れた場所にあるときに便利です。

参考

コンピューターに装着した USB メモリーにジョブを保存して、その USB メモリーをプリンターに装着したときも、プリンターに装着している USB メモリーにジョブを書き出したときと同様の操作が行えます。

ジョブの書き出し手順は、以下の通りです。

1 ツールバーの  (ジョブファイル書き出し) をクリックします。

2 書き出し先を [コンピューター] または [プリンター USB のメモリー] から選択します。

[コンピューター] 選択時はファイル名と保存先を指定して [保存] をクリックします。

[プリンター USB のメモリー] 選択時は、自動でファイル名が割り振られて保存されます。

参考

本ソフトウェアで指定した印刷部数は、書き出したジョブに保存されません。書き出したジョブを使用して複数部数を印刷するときは、ジョブの送信前や印刷前に部数を指定してください。

作業状態/作業結果の画像の保存と読み込み

現在の作業状態や作業結果の画像は、以下の操作をするまで有効です。

- 別の画像をプレビューエリアに読み込む
- 本ソフトウェアを終了する

次回起動時や現在の作業を中断して別の画像で作業後に作業を再開したいときは、以下のどちらかの保存をしてください。

- 作業状態の保存
画像と以下の各設定の現在の状態を作業ファイル（.gcr）として保存します。
 - 印刷設定
 - レイアウト設定
 - 色置換設定

次回、同じ状態から作業を再開したいときに適しています。

作業ファイル（.gcr）は、別アプリケーションソフト（Garment Creator Easy Print System）のホットフォルダーでジョブ作成用の設定ファイルとしても使用します。

ホットフォルダーについて  [「定型の印刷を簡単に行う（ホットフォルダー）」35 ページ](#)

参考

作業ファイル（.gcr）の互換性

- 異なる機種のプリンターでは作業ファイル（.gcr）の互換性がありません。
- お使いのプリンターが SC-F3050 のときは、本ソフトウェアで保存した作業ファイル（.gcr）と、Garment Creator for SC-F3000 Series で保存した作業ファイル（.gcr）は、互換性があります。

- 画像の保存
レイアウト設定や色置換設定した結果の画像を PNG ファイルとして保存します。
作業結果の画像を読み込んで、新たに手を加えて使うときに適しています。

保存の手順

1 ツールバーの （保存）をクリックします。

2 目的に応じて【作業状態】または【画像のみ】をクリックします。

3 ファイル名と保存先を指定して【保存】をクリックします。

読み込み手順

保存した作業状態や画像の読み込み手順を説明します。

1 ツールバーの （開く）をクリックします。

2 表示されたファイルダイアログ画面から目的に応じて作業ファイル（.gcr）または画像ファイル（.png）を選択します。

プレビューエリアに読み込んだファイルの画像が表示されます。

複数画像の配置方法

複数画像編集モードにすると、異なる画像を追加で読み込んだり、読み込んだ画像をコピーしたりと複数画像を組み合わせたレイアウト設定ができます。

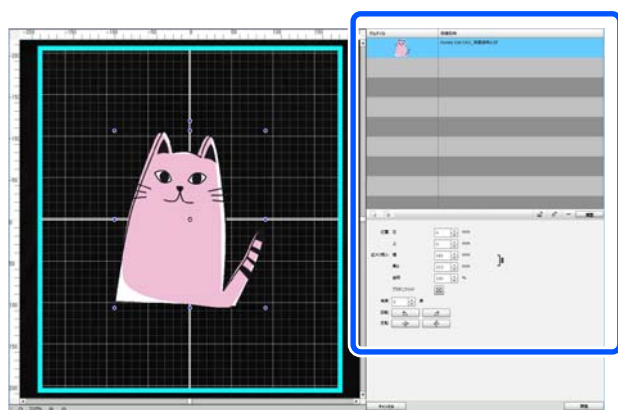
文字を入力して同様に追加やコピー、配置できます。

画像の追加とコピー

1 ツールバーの （開く）をクリックして画像をプレビューエリアに読み込みます。
または、プレビューエリア上に画像ファイルをドラッグ&ドロップします。

2 プレビューエリア上の画像をダブルクリックします。

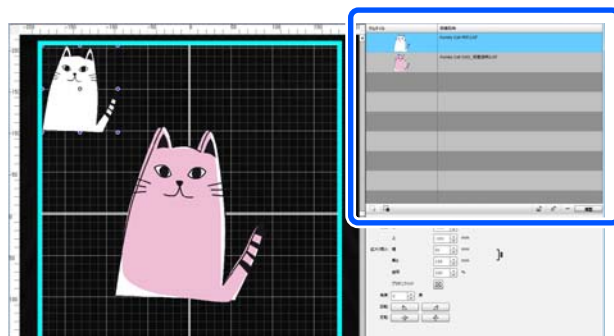
設定エリアが複数画像編集モードに替わります。
複数画像編集モード時は、ステータスエリアは無効になります。



3 複数画像編集モードのツールバーの （複数画像）をクリックしてプレビューエリアに別の画像を読み込みます。

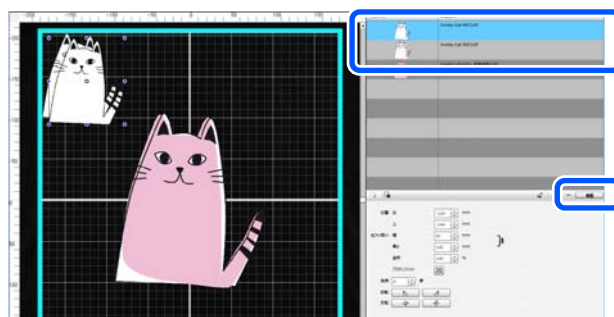
または、プレビューエリア上に画像ファイルをドラッグ&ドロップします。

複数画像編集モードでは、読み込んだ画像がプレビューエリアと画像リストに追加されます。



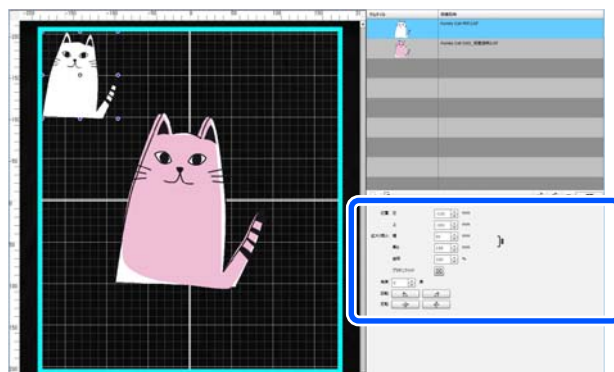
画像をコピーしたいとき

コピーしたい画像をクリックして「複製」をクリックします。画像がコピーされ、プレビューエリアと画像リストに追加されます。



画像のレイアウト設定

読み込んだ画像の位置の変更や拡大/縮小等は、画像をクリックして編集枠が表示された状態で行います。レイアウト設定は、レイアウト設定タブと同様に行えます。

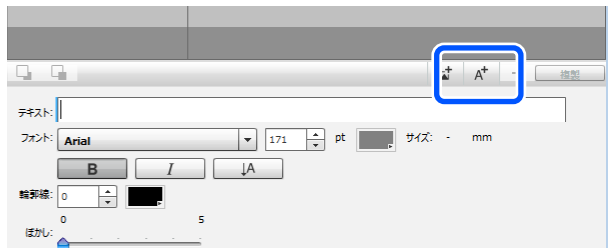


文字の追加とコピー

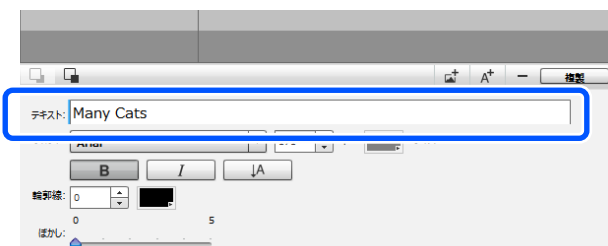
文字を入力して配置できます。

- 1 複数画像編集モードのツールバーの **A⁺**（文字入力）をクリックします。

設定エリアが文字編集状態に変わります。



- 2 テキストボックスに文字を入力します。



文字は 1 行単位で入力できます。 **A⁺** をクリックするたびに新たに文字を追加できます。
入力した文字列を選択して編集枠が表示された状態では、画像と同様の操作で位置の変更や反転が行えます。

文字編集状態（文字列を選択して編集枠が表示された状態）では、文字に対して下表の設定ができます。

フォント	「フォント」のドロップダウンリストから使用するフォントを選択します。お使いのコンピュータに市販のフォントを組み込んでいれば、そのフォントもドロップダウンリストに表示され選択できます。
文字サイズ	171 pt に数値を入力するかスピンボタンで文字のポイント数を指定します。
太字	B をクリックします。もう一度クリックすると解除されます。 Mac の場合は、「フォント」で選択します。
斜体	I をクリックします。もう一度クリックすると解除されます。 Mac の場合は、「フォント」で選択します。

縦書き	JA をクリックします。もう一度クリックすると解除されます。2 バイト文字に対してのみ有効です。
文字の色	 をクリックして表示されたチャートから色を選択し「適用」をクリックします。
輪郭線	「輪郭線」に数値を入力するかスピンボタンで文字の輪郭線の線幅（ポイント数）を指定します。0 にしていると輪郭線は付きません。
輪郭線の色	 をクリックして表示されたチャートから色を選択し「適用」をクリックします。



文字をコピーしたいとき

プレビューエリア、または画像リストでコピーしたい文字列をクリックして「複製」をクリックします。
文字列がコピーされ、プレビューエリアと画像リストに追加されます。

影付き文字にしたいとき

- 1 プレビューエリア、または画像リストで影付き文字にしたい文字列をクリックして「複製」をクリックし、同じ文字列を 2 つ作ります。
- 2 画像リストで下に位置する文字列を選択して影になる色に変更します。
影をぼかしたいときは、「ぼかし」のスケールを数値が大きくなるように変更します。

3 文字列の位置をずらします。



不要な画像、文字の削除

1 削除する画像や文字列を選択します。

プレビューエリアで削除対象の画像や文字列をクリックして編集枠が表示された状態にします。複数の画像や文字列をまとめて削除するときは、画像リストで以下の通り選択します。

連続した画像/文字列を選択

選択する先頭の行をクリックして【Shift】キーを押したまま最後の行をクリックする。

飛び飛びに複数の画像/文字列を選択

【Ctrl】キーを押したまま削除対象の行をそれぞれクリックする。

連続して選択した例



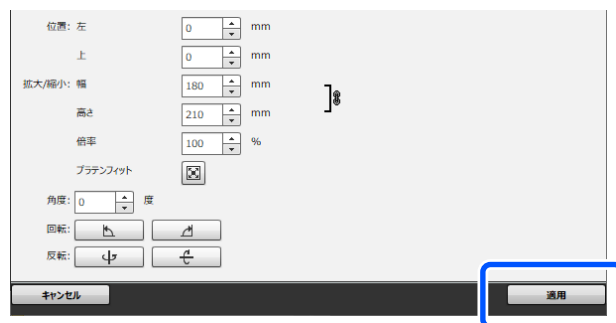
2 [-] をクリックします。

選択した画像が削除されます。



複数画像編集モードの終了方法

複数画像編集モードでの作業を終了するときは、画面右下の「適用」をクリックします。



複数画像編集モードでの作業結果がプレビューエリアに表示されたままメイン画面に戻ります。

複数画像編集モードを終了するとプレビューエリアの画像は統合された1つの画像になります。

複数画像編集モードに戻るには

プレビューエリアで画像をダブルクリックすると、再び複数画像編集モードになります。複数画像編集モードにすると、個々の画像に対してレイアウト設定が行えます。

複数画像編集モードでの作業結果を残しておきたいとき

複数画像編集モードでの作業結果は、以下の操作をするまで有効です。

- メイン画面で別の画像をプレビューエリアに読み込む
- 本ソフトウェアを終了する

複数画像編集モードでの作業結果を残すには、作業状態の保存または画像の保存を行います。画像の保存は、複数画像を統合した1つの画像として保存されます。後から個々の画像に対してレイアウト設定するときは、作業状態の保存を行います。

[「作業状態/作業結果の画像の保存と読み込み」20ページ](#)

印刷設定

印刷設定タブを選択すると設定エリアが印刷設定になります。

お使いの機種や［お気に入り］で選択している T シャツタイプによって印刷設定の内容が異なります。

各 T シャツタイプの詳細  「生地色 (T シャツタイプ) の選択」13 ページ



項目	機能
基本設定	
印刷品質	［お気に入り］で選択した T シャツタイプに応じた推奨印刷品質をコンボボックスから選択できます。 印刷品質は、画質と印刷速度の兼ね合いで選択します。［きれい］側にスライドするほど画質は向上しますが印刷速度は遅くなります。お使いの機種により選択できるレベルが異なります。 任意に［ホワイト印刷品質］、［カラー印刷品質］を設定すると、コンボボックスは［カスタマイズ］になります。
ダブルストライク印刷	お使いのプリンターが SC-F3050 で、［基本設定］に［ホワイト印刷品質］と［カラー印刷品質］の両方が表示されているときに限り表示されます。 下地と画像のカラー部分でにじみが見られるときなどはチェックを外すことをお勧めします。チェックを外すと、1 回目にホワイトインクで下地部分のみを印刷し、2 回目に画像部分を印刷します。画像を印刷する前に下地が乾燥するため、にじみが軽減されます。
ホワイト印刷品質 カラー印刷品質	［ホワイト印刷品質］で下地と画像で使用している白 (R,G,B = 255,255,255) のレベルを選択します。［きれい］側にスライドするほど画質は向上しますが印刷速度は遅くなります。 ［ホワイト印刷品質］での設定に応じて［カラー印刷品質］で設定できるレベルが変わります。 ［ホワイト印刷品質］と［カラー印刷品質］は、［お気に入り］で選択した T シャツタイプに応じて、どちらか一方だけが表示されることがあります。

印刷設定

項目	機能	
特殊設定		
ヘッド移動方向	印刷方法を以下のどちらかから選択できます。	
	双方向（高速印刷）	通常は、こちらを選択します。プリントヘッドが左右に移動する都度印刷されます。
	単方向（低速印刷）	プリントヘッドが左右に移動する際の往路でのみ印刷します。印刷速度は遅くなりますが、よりきれいに印刷できます。
印刷オプション	〔基本設定〕に、〔印刷品質〕と〔カラー印刷品質〕だけが表示されているときに限り表示されます。 特殊な印刷方法を選択できます。	
	オプションなし	通常の印刷です。
	カラー重ね印刷	インクの染み込みが少ないと感じるときや、色を鮮やかにしたいときに選択します。1 度印刷した後に、同じデータをもう 1 度印刷します。
	にじみ軽減印刷	インクが混ざって、にじみが発生するときに選択します。にじみ軽減印刷のレベルを選択します。 〔レベル 1〕にスライドすると、イエローとブラックの境界線を検索して、境界線のドットを印刷しません。 〔レベル 2〕にスライドすると、最初にイエローのみを印刷して、次に残りのシアン、マゼンタ、ブラックを印刷します。
カラーマネジメント	印刷時のカラーマネジメント方法を選択します。	
	標準プロファイル	本ソフトウェアに標準で付属しているプロファイルを適用します。 通常はこちらを選択します。
	ビビッドカラープロファイル	〔標準プロファイル〕選択時より鮮やかな色合いで印刷したいときに選択します。 お使いのプリンターが SC-F3050 のときは、〔印刷品質〕に 1200x600dpi HD モードを選択しているときに限り表示されます。
	シミュレーションプロファイル (SC-F2200/ SC-F2100 Series)	お使いのプリンターが SC-F3050 で、〔印刷品質〕に 1200x600dpi HD モードを選択しているときに限り表示されます。 SC-F2250 または SC-F2150 と色みを近づけて印刷したいときに選択します。 より厳密に色合わせしたいときは、専用のユーザープロファイルを作成することをお勧めします。
	ユーザープロファイル	市販の測色器やプロファイル作成ソフトを使って任意に作成した印刷用プロファイルを使うときに選択します。 ファイル選択画面で目的のプロファイルを指定できます。 〔ユーザープロファイル〕を選択すると、〔色校正用プロファイル〕のチェックボックスが表示されます。別の機種や他社のプリンターで印刷した色合いと合わせたいときにチェックして色校正用プロファイルを指定します。ここで指定する色校正用プロファイルは、色を合わせたいプリンターで印刷した測色チャートを元に作成した印刷用プロファイルです。 ユーザープロファイル、色校正用プロファイル作成時の留意点は、以下をご覧ください。  「ユーザープロファイル作成時の留意点」42 ページ
	色補正なし	市販の測色器やプロファイル作成ソフトを使って印刷用プロファイル（ユーザープロファイル）を作成するときに選択します。 〔色補正なし〕を選択すると、プロファイルによる色変換を行いません。 ユーザープロファイル作成時の留意点は、以下をご覧ください。  「ユーザープロファイル作成時の留意点」42 ページ

印刷設定

項目	機能	
乾燥時間	以下の通り、1 枚の T シャツに複数回印刷するときのみ有効です。インクを重ねて印刷するときの乾燥時間を確保したいとき、2 回目の印刷を開始するまでの間隔を指定します。 • [ダブルストライク印刷] のチェックを外しているとき。 • [印刷オプション] で、[カラー重ね印刷] 選択時または [にじみ軽減印刷] を [レベル 2] に設定しているとき。	
インク量調整		
チャート印刷 カラーインク濃度 ホワイト（表層） ホワイト（下地）	印刷する T シャツにあったインク量に調整するためのチャートの印刷と印刷結果のチャートで確認した調整値を入力します。詳細は以下をご覧ください。  「インク量調整」9 ページ	
ホワイト設定		
ホワイト	[基本設定] に、[ホワイト印刷品質] と [カラー印刷品質] の両方が表示されているときに限り表示されます。画像の白（R,G,B = 255,255,255）の部分を印刷するかしないかを選択できます。	
	印刷する	画像の白（R,G,B = 255,255,255）の部分を印刷します。（画像データの彩色のまま印刷します）
	印刷しない	画像の白（R,G,B = 255,255,255）の部分は印刷しません。画像作成時のワークスペースが背景として白くなっている画像の背景を付けずに印刷するときを選択します。ただし、画像の部分に白を使っている場合は、その部分も印刷されなくなります。 画像部分に白を使っていて背景の白を消したいときは、[色置換設定] で [隣接領域のみ] にチェックが付いていることを確認して [透明] を選択して背景部分をクリックします。
下地の削り幅	[基本設定] に、[ホワイト印刷品質] と [カラー印刷品質] の両方が表示されているときに限り表示されます。 自動で生成する下地が画像よりはみ出していると感じるときに、何ピクセル削るかを設定します。 設定した結果は、プレビューエリアでは確認できません。	
下地印刷	[基本設定] に、[ホワイト印刷品質] と [カラー印刷品質] の両方が表示されているときに限り表示されます。 自動で生成する下地を印刷する（あり）/印刷しない（なし）を選択します。	
色調補正		
メリハリ 明度 彩度 コントラスト	[メリハリ] のコンボボックスでプリセットの色調補正值を選択するか、任意に [明度]、[彩度]、[コントラスト] を指定できます。色置換設定で置換した色に対しては、補正は無効になります。 [メリハリ] のコンボボックスのプリセット値は、イラストの色をくっきりはっきりさせたいときに適した値があらかじめ用意されています。5 種類のプリセット値からお好みのものを選択してください。[レベル 1] から [レベル 5] の数字が小さいほどメリハリが強くなります。 任意に [彩度]、[明度]、[コントラスト] を指定すると、コンボボックスは [カスタマイズ] になります。[コントラスト] は、R、G、B を個別に調整することもできます。	

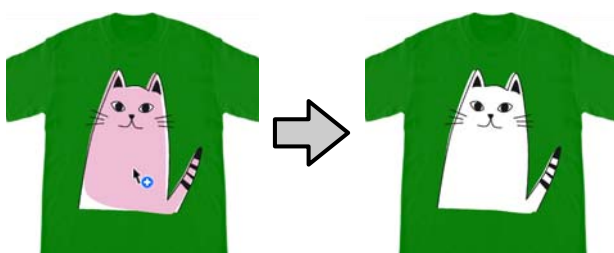
色置換で変化を持たせる

画像の特定の色を別の色や透明に置換することで、簡単に以下の通りバリエーションに富んだ印刷が行えます。

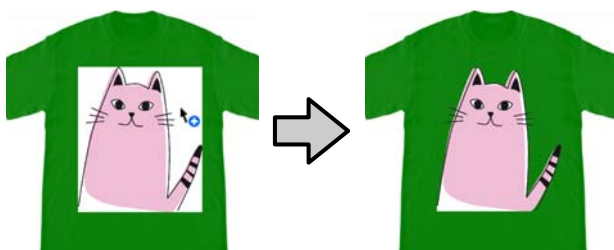
Tシャツの生地色に合わせて画像の色を変更する
同じ画像で配色を変えて、Tシャツの生地色に合った印刷が行えます。



白色に置換したいとき
色の部分を白色に置換できます。



透明に置換したいとき
色の部分を透明に置換できます。
画像の背景を消したいときなどに便利です。



1 設定タブで【色置換設定】を選択します。
設定エリアが色置換設定に切り替わります。

2 【色置換タイプ】で目的のボタンをクリックします。

カーソル形状が に変わります。

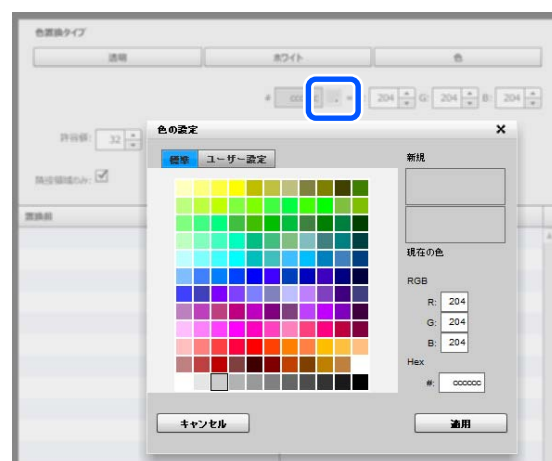
【透明】または【ホワイト】をクリックしたときは、手順4に進みます。

【色】をクリックしたときは、手順3に進みます。



3 置換後の色を選択します。

(カラー選択) ボタンをクリックして表示されたカラーチャート、またはユーザー設定タブの色ボックスで置換後の色を選択し、【適用】をクリックします。



[R]、[G]、[B] に値を入力して任意に色を指定することもできます。

4 プレビューエリアの置換したい色をクリックします。

【隣接領域のみ】にチェックが付いていると区切られたエリアでのみ色置換されます。チェックを外すと、画像内のクリックした色と同じ色が全て色置換されます。

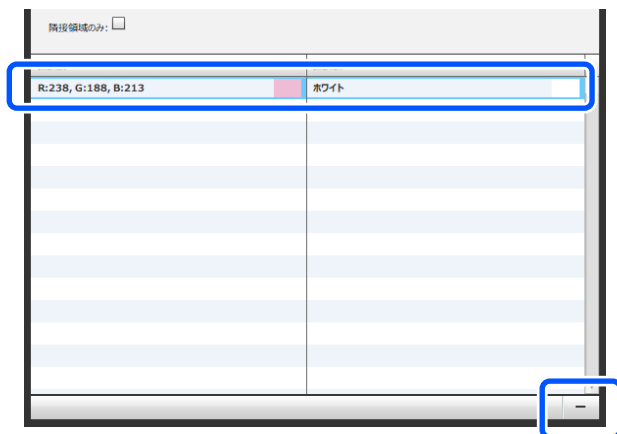
【許容値】に数値を設定すると、ピンポイントの色置換をするのではなく、許容値の範囲の色が置換対象になります。

例えば、【許容値】に 20 と設定して R,G,B が 140,140,140 の色をクリックしたときは、各 R,G,B が 120～160 の範囲の色が置換対象になります。だいたい同じ色を一括して同じ色に置換したいときに便利です。

色置換した画像をダブルクリックして複数画像編集モードにすると元の色で表示されます。【キャンセル】で複数画像編集モードを抜けたときは、置換した状態に戻りますが、【適用】をクリックすると色置換は解除されます。

置換した結果を元に戻したいとき

置換履歴リストで元に戻したい行を選択して【-】をクリックします。



メニューの説明

本ソフトウェアのメイン画面の上部にあるメニューバーの詳細を説明します。

ファイル

項目	説明
新規作成	ブラテンサイズと印刷設定を選択してプレビューエリアを新しく作成します。
開く	本ソフトウェアで保存、書き出したファイルを開きます。
保存	以下のどちらかを選択してファイルに保存します。
作業状態	現在のプレビューエリアの画像と印刷設定タブ、レイアウト設定タブ、色置換設定タブの各設定状態を保存します。保存した作業ファイルを開くと、引き続きレイアウトや各設定の変更を行えます。本ソフトウェア固有のフォーマット（.gcr）で保存されます。
画像のみ	プレビューエリアの画像を PNG 形式で保存します。 レイアウトした結果の画像を保存しておき、後から繰り返し利用するときに便利です。 複数画像編集した結果の画像を保存すると、統合された1つの画像として保存されます。保存したファイルを開き、個々の画像のレイアウト編集をするときは【作業状態】を選んで保存します。
読み込み	以下のファイルを読み込み、プレビューエリアに表示します。
背景画像	読み込んだ画像は、プレビューエリアに背景画像として表示されます。 🔗 「任意の背景画像に切り替える」34 ページ 事前に背景画像を作成しておきます。背景画像として使える画像フォーマットは、通常の画像と同じです。 🔗 「対応画像データ形式」42 ページ
カラーチャート（濃色 T シャツ用）	印刷したときの色味を確認するためのカラーチャートを用意しています。 T シャツに印刷して色サンプルとしてもお使いいただけます。 読み込むとプレビューエリアにカラーチャートが表示されます。通常の画像と同様にブラテンフィットさせるなどのレイアウト設定が行えます。色味を確認したいT シャツに応じて濃色 T シャツ用、淡色 T シャツ用のどちらかを呼び出して、T シャツに印刷してください。
カラーチャート（淡色 T シャツ用）	
ジョブファイル書き出し	書き出し先を以下のどちらかから選択してジョブをファイルに書き出します。 🔗 「ジョブをコンピューターや USB メモリーに書き出す」19 ページ
コンピューター	コンピューターのストレージまたは、コンピューターに装着している USB メモリーなどを指定してジョブを書き出します。
プリンター USB のメモリー	プリンターに装着している USB メモリーにジョブを書き出します。
終了	本ソフトウェアを終了します。

編集

項目	説明
複数画像	複数画像編集モードに移行します。プレビューエリアに何も画像がない状態で選択すると、ファイルを開くダイアログボックスが表示されます。  「複数画像の配置方法」 21 ページ
文字入力	複数画像編集モードの文字入力状態に移行します。  「文字の追加とコピー」 22 ページ

表示

項目	説明
プレビューモード	【濃色 T シャツ（標準）】と【黒色 T シャツ（生地黒色利用）】選択時は、画像のカラーの部分に、使用するカラーに応じた濃さで自動的に白色の下地が作成されます。【ホワイト】を選択すると下地の確認ができます。 通常の状態に戻すには【フルカラー】を選択します。
ガイド表示	以下の表示をする/しないを選択します。チェックを外すと表示されなくなります。
背景画像	プレビューエリアに背景画像を表示する/表示しないを選択します。  「背景画像をカスタマイズする」 33 ページ
グリッド線	印刷範囲内にグリッド線を表示する/表示しないを選択します。グリッド線の間隔や印刷範囲外にもグリッド線を表示するかをオプションメニューの【環境設定】で変更できます。
印刷範囲	プレビューエリアに印刷範囲線を表示する/表示しないを選択します。
背景自動設定	T シャツタイプを変更するたびにデフォルトの T シャツ画像を背景に表示する/表示しないを選択します。 任意で作成した背景画像を読み込んで、常にその背景のまま使用したいときは、チェックを外すと背景画像が切り替わらず現在表示されている背景が継続して表示されたままとなります。
ガイド表示色	以下の表示色を変更できます。色を変更したい項目を選択して表示されたカラーチャート、または【ユーザー設定】タブの色ボックスで置換後の色を選択し、【適用】をクリックします。
背景色	デフォルトの T シャツ画像の色を変更できます。カラー T シャツに印刷したときの雰囲気を確認したいときなどに便利です。
グリッド線色	グリッド線の色を変更できます。
印刷範囲線色	印刷範囲線の色を変更できます。
ズーム	倍率を指定してプレビューエリアの表示を拡大/縮小できます。 プレビューエリア下の  をクリックしたときと同じ設定ができます。

ジョブ

項目	説明
ジョブ履歴	本ソフトウェアからジョブの送信、またはジョブの書き出しをしたジョブの一覧と、各ジョブの詳細を確認できます。デフォルトでは、ジョブ履歴を保存しない設定になっています。  「ジョブの確認と読み込み (ジョブ履歴)」 36 ページ
簡易コスト見積	プレビューエリアの画像データを印刷したときのコストの目安を手短に見積もれます。  「簡易コスト見積もり」 38 ページ

プリンター

項目	説明
ステータス表示	Epson Edge Dashboard のプリンターの管理画面*が表示されます。 Epson Edge Dashboard の詳細は、Epson Edge Dashboard のオンラインヘルプをご覧ください。 Epson Edge Dashboard をインストールしていないときは、選択中のプリンターのインクパックの残量と廃インクボトルのたまり具合の目安がメッセージとアイコンで表示されます。アイコンの見方は、プリンターの操作パネルと同じです。詳細はプリンターに付属のマニュアルをご覧ください。

* USB でコンピューターとプリンターを接続しているときは、印刷中はプリンターのステータス表示が更新されません。画面右上の  をクリックしても更新されません。印刷が完了するまでお待ちください。

オプション

項目	説明
環境設定	
一般設定タブ	
表示言語	本ソフトウェアの表示言語を変更できます。
パス	お気に入りの設定値が保存されているデータベースファイルの保存先を確認できます。 ☰をクリックすると、データベースファイルの保存や読み込みができます。 [新規作成]を選択すると、指定した保存先にデータベースファイルを新規作成します。
スプール設定	作成したジョブのプリンターへの送信方法を変更できます。 印刷時間を短縮できるため、通常は [すぐにデータを送信] の設定にしておくことをお勧めします。
スプーラー種類	Windows で本ソフトウェアをお使いのときに限り表示されます。 選択したプリンターと本ソフトウェアをインストールしたコンピューターが正しく接続されている状態で、本ソフトウェアからジョブを送信できないときにチェックを付けてください。
保存確認のメッセージ表示	現在の作業状態や作業結果の画像の保存確認のメッセージを表示する/表示しないを設定できます。 チェックを外すと保存確認のメッセージは表示されなくなります。
ジョブファイルの対応プリンター	作成するジョブファイルの対応プリンターを選択します。 メイン画面でジョブの送信先プリンターを選択していないときに、本項目で選択したプリンターに対応するジョブファイルが作成されます。
入力解像度	ジョブ作成時の入力解像度を変更できます。 [600dpi]を選択するときは、解像度が600dpiの画像データを使用してください。
プレビュー詳細タブ	
単位	本ソフトウェアで表示する長さの単位を変更できます。
グリッド間隔	メイン画面のプレビューエリアのグリッド線の間隔を変更できます。
強調表示	メイン画面のプレビューエリアのグリッド線を強調表示する間隔を変更できます。
枠外のグリッド表示	メイン画面のプレビューエリアで印刷範囲外にもグリッド線を表示する/表示しないを設定できます。 チェックを付けると印刷範囲外にもグリッド線を表示します。
プレビュー品質	メイン画面のプレビューエリアに表示する画像の解像度を変更できます。 解像度を下げるとプレビューエリアの表示と実際の印刷結果が異なることがあります。

ヘルプ

項目	説明
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンが確認できます。

こんなときには

背景画像をカスタマイズする

背景画像はサイズや色を変更したり、任意に作成した画像を使用したりできます。

Tシャツの色を変更する

Tシャツの色を変えて画像の色がマッチするか印刷前に確認できます。



- 1 表示メニューで【ガイド表示色】 - 【背景色】の順でクリックします。

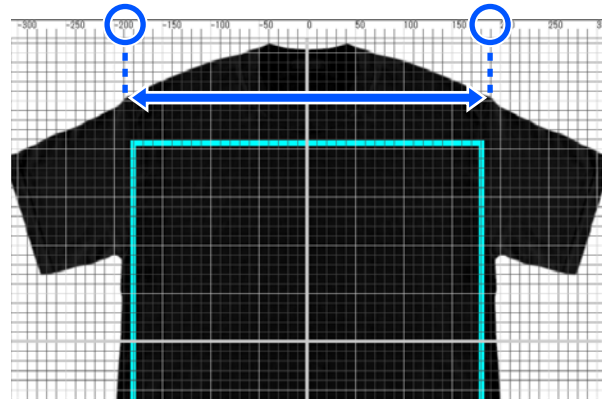
色の設定画面が表示されます。

- 2 カラーチャート、またはユーザー設定タブの色ボックスで変更後の色を選択し、【適用】をクリックします。

Tシャツのサイズを変更する

Tシャツのサイズを変えて実際に印刷するサイズに合わせて画像の大きさや位置を印刷前に確認できます。
初期設定の背景のTシャツは、M、Lのプラデンが合うサイズになっています。

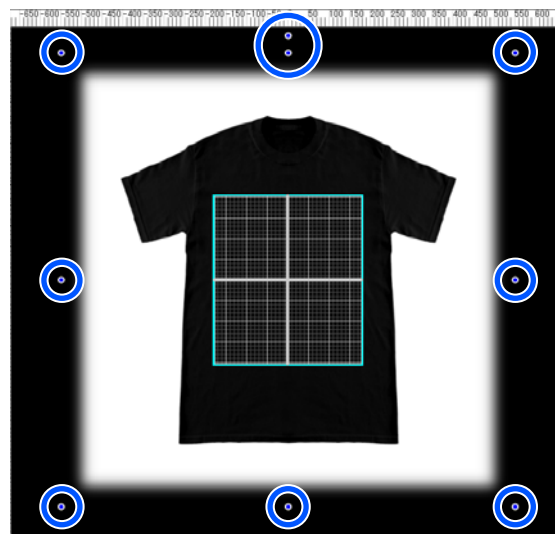
肩幅を約 38cm にした例



- 1 プレビューエリアで印刷範囲線の外側の背景画像をダブルクリックします。

色背景画像に編集枠が表示されます。

編集枠が見えないときは、プレビューエリア下の 🔍 を何度かクリックしてプレビューの表示を縮小します。



- 2 ハンドルをドラッグして背景画像を拡大/縮小します。

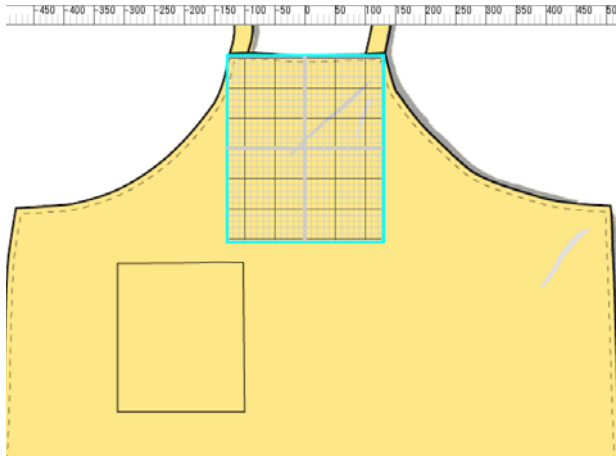
上部のスケールで肩幅などのサイズを合わせます。
オプションメニューの【環境設定】で【枠外のグリッド表示】にチェックを付けるとグリッド線がプレビューエリア全体に表示されるためスケールと合わせやすくなり便利です。

🔗 [「オプション」 32 ページ](#)

位置を変更するときは、背景画像をドラッグします。

任意の背景画像に切り替える

エプロンなどTシャツ以外のものに印刷したいときなどは、デジタルカメラで写真を撮るなど任意に画像を作成して背景画像として使用できます。



使用できる画像の仕様は、通常の画像と同様です。

🔗 [「対応画像データ形式」42 ページ](#)

背景に使用する画像は、事前にドローソフトなどで作成しておきます。以下では、作成した画像を背景画像として読み込む手順を説明します。

- 1 ファイルメニューで【読み込み】 - 【背景画像】の順でクリックします。

ファイル選択画面が表示されます。

- 2 作成した画像を選択して【開く】をクリックします。

プレビューエリアに選択した画像が背景画像として表示されます。

拡大/縮小、位置の変更方法は、前項の「Tシャツのサイズの変更方法」をご覧ください。

背景画像の変更結果を登録する

色やサイズ変更したり、任意の画像を背景画像として呼び出したりしたプレビューエリアの背景画像は、印刷設定タブの【お気に入り】で別のTシャツタイプを選択するまで有効です。

参考

表示メニューの【ガイド表示】で【背景自動設定】のチェックを外すと、印刷設定タブの【お気に入り】で別のTシャツタイプを選択しても背景画像は切り替わらなくなります。常に同じ背景画像で作業するときは、チェックを外します。

必要に応じて変更結果の背景画像を使いたいときは、現在の設定状態を印刷設定タブの【お気に入り】に登録します。以降【お気に入り】から選択するだけで変更結果の背景画像になります。

- 1 プレビューエリアに登録したい背景画像が表示され、サイズ等の変更が完了していることを確認して **+** をクリックします。



- 2 名称を入力するウィンドウが表示されるので、わかりやすい名称を入力して【適用】をクリックします。

【お気に入り】のエリアに追加したTシャツタイプが表示されます。

定型の印刷を簡単に行う (ホットフォルダー)

ホットフォルダーとは

頻繁に、決まった印刷設定やレイアウト設定で印刷を行うときは、ホットフォルダーを使うと便利です。

ホットフォルダーに画像ファイルをコピーするだけで印刷ジョブの作成、指定のプリンターへのジョブ送信が自動で行われます。都度、本ソフトウェアで印刷設定やレイアウト設定をしてジョブを作成したり、ジョブ送信をしたりせず、画像ファイルをホットフォルダーにコピーする1手順で作業が完了します。

ホットフォルダーの作成や使い方の詳細は、Garment Creator Easy Print System のオンラインヘルプをご覧ください。

ホットフォルダーを使うには、Garment Creator Easy Print System をインストールします。Garment Creator Easy Print System は、Windows 専用ソフトウェアです。Garment Creator Easy Print System は、本ソフトウェアがインストールされているコンピューターにインストールしてください。

インストール手順

Garment Creator Easy Print System のインストールは、Epson Software Updater を起動して以下の通り行います。Epson Software Updater は、プリンターに付属のソフトウェア CD または Epson Setup Navi からインストールされます。Epson Software Updater のインストールについては、プリンターに付属のマニュアルをご覧ください。

1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- プリンターとコンピューターが通信できている。

2 Epson Software Updater を起動します。

Windows 8.1

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 10

スタートボタンをクリックして、アプリケーションの一覧から [Epson Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

Windows 11

スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。



デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[Epson Software Updater] を選択しても起動できます。

3 目的のプリンターが選択されていることを確認します。

選択されていないときは、コンボボックスで使用するプリンターを選択します。

4 【お勧めのアップデート】で **Garment Creator Easy Print System** にチェックを付けます。

5 【1 項目をインストール】をクリックします。

ジョブの確認と読み込み（ジョブ履歴）

ジョブの送信、ジョブファイルの書き出しをするとジョブ履歴に保存できます。

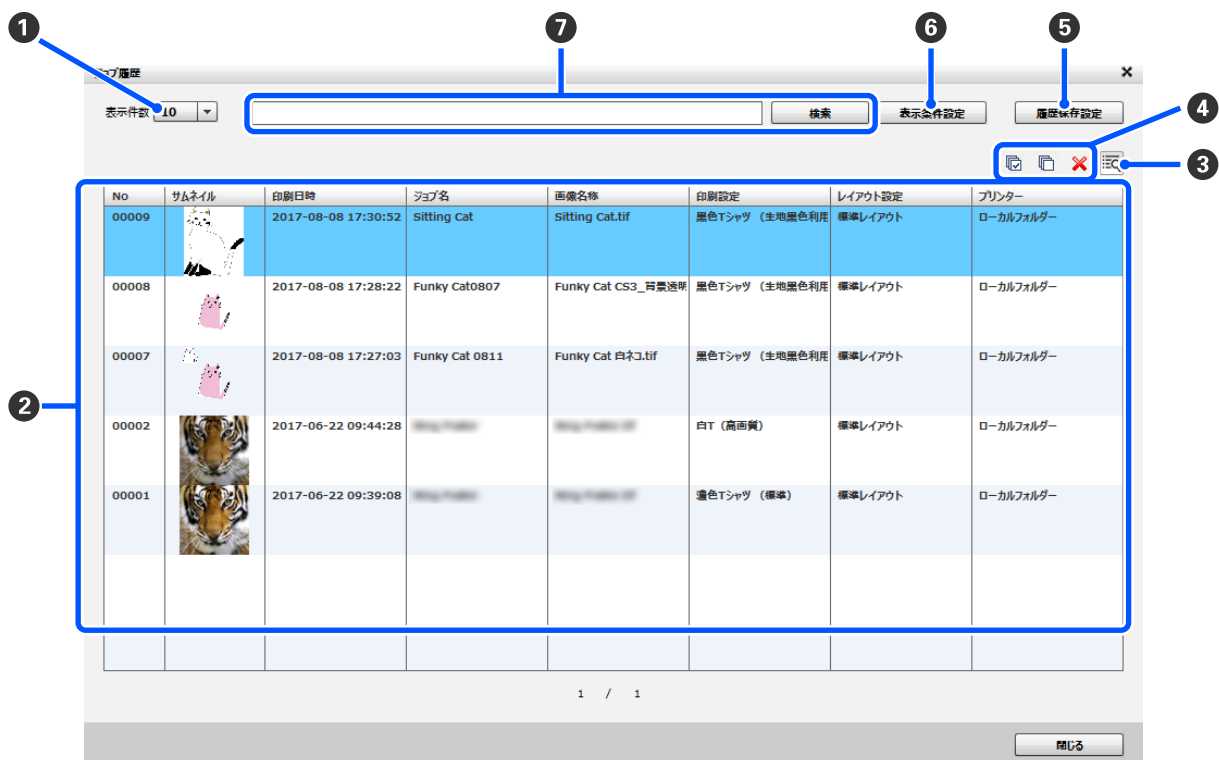
ジョブ履歴は、以下の通り利用できます。

- 後から送信、書き出ししたジョブの詳細情報を確認する。
- ジョブファイルを開いて再印刷する。

初期設定では、ジョブ履歴を保存しない設定になっています。ジョブ履歴を保存するには、履歴保存設定を変更してください。

ツールバーの （ジョブ履歴）をクリックするか、ジョブメニューで「ジョブ履歴」を選択するとジョブ履歴画面が表示されます。

ジョブ履歴画面の構成は、以下の通りです。



部位名称	機能
① 表示件数	履歴リスト（②）の1ページに表示する最大件数を指定します。ここで指定した件数を超えると履歴リストの下に「次ページ」、「前ページ」ボタンが表示され次ページの表示、前のページに戻る操作ができるようになります。
② 履歴リスト	送信、書き出しをしたジョブが日時の新しいものから降順で一覧表示されます。[ジョブ名]、[画像名称]などの項目名をクリックすると、クリックした項目を元にリストが並べ替えられます。 検索ボックス（⑦）で検索したときや[表示条件設定]（⑥）で表示するジョブを絞り込んだときは、該当するジョブだけが表示されます。
③ ジョブの詳細情報表示ボタン	クリックすると履歴リスト（②）で選択しているジョブの詳細情報画面が表示されます。表示された詳細情報画面で「開く」をクリックすると、選択しているジョブを開きます。開いたジョブは、「印刷」ボタンをクリックして再印刷したり、ジョブファイルの書き出しをしたりできます。[履歴保存設定]（⑤）で「印刷情報のみ保存」を選択していると、ジョブファイルが保存されないため「開く」は無効となります。

部位名称		機能	
④	ジョブの選択と削除	履歴リスト（②）で不要になったジョブを選択して  をクリックするとジョブ履歴から削除できます。複数のジョブを選択するには、【Shift】キー、または【Ctrl】キーを押したまま目的のジョブをクリックします。  をクリックすると表示されているページ内の全ジョブが選択されます。異なるページのジョブは選択されません。  をクリックすると全選択を解除できます。	
⑤	履歴保存設定	ジョブ履歴の保存に関する以下の設定が行えます。	
		ジョブ履歴の保存	「[する]」を選択していないとジョブ履歴は保存されません。
		データ容量	ジョブ履歴データを保存する容量を 1～9999 の範囲で設定できます。初期値は 1000MB です。
		ジョブ数	保存する最大ジョブ数を 1～1000 の範囲で設定できます。初期値は 100 個です。
		印刷情報のみ保存	印刷情報だけが保存されます。ジョブファイルは保存されないため、ジョブの詳細情報画面の「[開く]」は無効となります。
		無制限	印刷情報とともにジョブファイルが履歴として保存されます。ジョブも保存されるので、  をクリックして表示されるジョブの詳細情報画面（③）で「[開く]」をクリックして再印刷ができます。
⑥	表示条件設定	履歴リスト（②）に表示するジョブの絞り込みに関する以下の設定が行えます。	
		表示期間を指定する	期間を指定してジョブの送信・ジョブファイルの書き出し日が指定の期間内のジョブに絞り込んで履歴リスト（②）に表示できます。 チェックを付けると「[開始日]」、「[終了日]」が有効になります。 「[開始日を選択]」、「[終了日を選択]」のコンボボックスをクリックするとカレンダーが表示されるので、絞り込みたい期間を指定します。初期設定は、チェックが外れています。
⑦	検索ボックス	キーワードを指定して履歴リスト（②）に表示するジョブを絞り込みます。 検索ボックスに絞り込みのキーワードを入力して「[検索]」をクリックします。絞り込んだ結果を元の状態に戻すときは、検索ボックスを空欄にして「[検索]」をクリックします。	

簡易コスト見積もり

インクやTシャツなどの経費を事前に登録しておき、プレビューエリアに表示されている画像の印刷コストの目安を見積もれます。

！重要

- 本ソフトウェアは、指定した印刷ジョブのインクコストやインク使用量を簡易的に見積もるソフトウェアのため、精度を保証しません。また、プリンターの機種間で動作が異なるため、その比較結果も保証できません。
- エプソンは、用途に応じてコストやインク使用量を見積もるソフトウェアを複数種類ご用意しておりますので、用途に適したソフトウェアをご使用ください。
- 実際のインクコストやインク使用量は、お客様のプリンターご使用状況により異なります。
- メンテナンス作業で使用されるインク（ソフトウェア内で明記されている場合を除く）や、交換されたインクカートリッジに使用しきれずに残るインクは見積もりに含まれません。

準備（経費の登録）

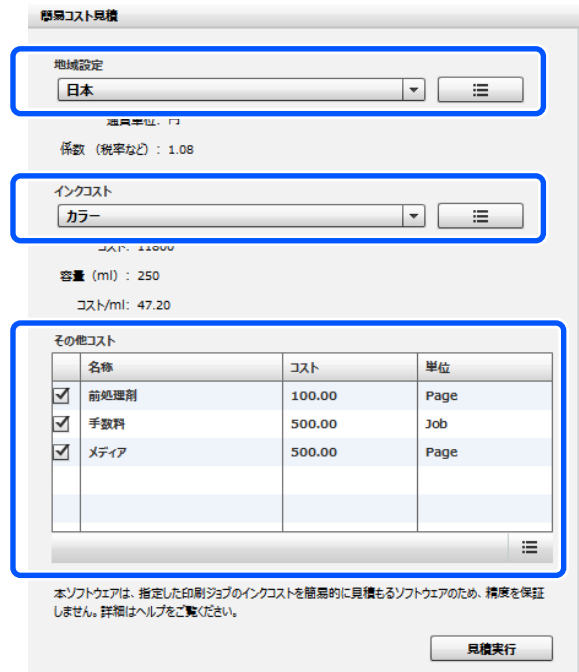
見積もりに必要な通貨単位や税率、インクの単価、Tシャツ（メディア）の単価の設定手順を説明します。

1 ツールバーの （簡易コスト見積）をクリックします。

または、ジョブメニューで「簡易コスト見積」を選択します。

2 単価設定や他の経費を設定します。

簡易コスト見積画面で「地域設定」、「インクコスト」、「その他コスト」の各  をクリックして「新規作成」を選択します。



簡易コスト見積

地域設定
日本 

通貨単位: JPY
係数 (税率など): 1.08

インクコスト
カラー 

容量 (ml): 250
コスト/ml: 47.20

その他コスト

	名称	コスト	単位
☒	前処理剤	100.00	Page
☒	手数料	500.00	Job
☒	メディア	500.00	Page



本ソフトウェアは、指定した印刷ジョブのインクコストを簡易的に見積もるソフトウェアのため、精度を保証しません。詳細はヘルプをご覧ください。

見積実行

設定内容の詳細は、下表の通りです。

地域設定	地域名称と使用通貨単位、所得税などが必要なときは、その税率を入力して「適用」をクリックします。
インクコスト	名称と単価、容量を入力して「適用」をクリックします。インク色ごとに単価を分けて見積もることはできません。各色一律の単価で見積もります。
その他コスト	Tシャツや前処理剤費用、手数料など、インク以外に掛かる経費を全て設定します。経費の名称と単価、単位を入力して「適用」をクリックします。

一度設定した内容は、保持されます。変更や削除が必要なときは、 をクリックして削除、編集、コピーできます。違う内容で追加するときは、再び新規作成を行います。

複数作成したときは、「地域設定」、「インクコスト」はコンボボックスで、「その他コスト」は一覧で切り替えられます。

見積もり手順

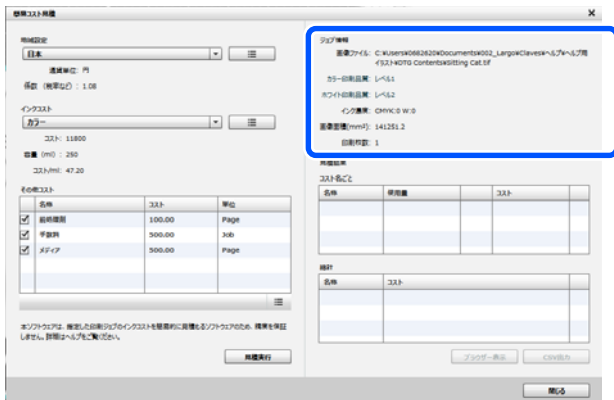
- 1 プレビューエリアに見積もり対象の画像が読み込まれていることを確認します。

印刷設定やレイアウト設定、色置換設定などを全て実際に印刷するときの状態にしておきます。

- 2 ツールバーの  (簡易コスト見積) をクリックします。

または、ジョブメニューで「簡易コスト見積」を選択します。

簡易コスト見積画面が表示されます。手順1の画像のジョブ情報が右上のエリアに表示されます。



簡易コスト見積画面のスクリーンショット。ジョブ情報、コスト表、印刷設定などが表示されています。

- 3 「[地域設定]」、「[インクコスト]」、「[その他コスト]」で見積もりの条件を選択します。

「[その他コスト]」は、必要となる経費にチェックを付けます。

- 4 「[見積実行]」をクリックします。

見積もり結果が右下に表示されます。



見積もり結果画面のスクリーンショット。コスト名ごと、インク、前処理剤、手数料、合計、備考などの情報が表示されています。

見積もり結果を保存したいとき

見積もり結果を保存したいときは、[ブラウザー表示] ボタンまたは [CSV 出力] ボタンをクリックします。出力した内容を保存したり、印刷したりして活用できます。

ブラウザー表示の例

簡易コスト見積

ジョブ名: Sitting Cat

総計 2119.33円



ジョブ情報

項目	値
画像ファイル	Sitting Cat.tif
カラー印刷品質	レベル1
モノクロ印刷品質	レベル2
カラーインク濃度	0%
モノクロインク濃度	0%
画像面積	141251.2
印刷枚数	1

コスト名ごと

名称	使用量	コスト
インク	18.27 ml	862.34円
前処理剤	1 Page	100.00円
手数料	1 Job	500.00円
メディア	1 Page	500.00円

見積結果

名称	コスト
合計	1962.34円
備考 (税率など)	1.08
総計	2119.33円

本ソフトウェアをドローソフトから呼び出して使う

プラグインソフトを Illustrator や Photoshop に組み込むと画像データを作成して、そのまますぐに本ソフトウェアでTシャツタイプの設定やレイアウト設定をして印刷できます。

本ソフトウェアで扱えないフォーマットの画像データを開いていても、自動でデータ形式が変換されてプレビューエリアに読み込まれるので、簡単で便利です。

本機能に対応するドローソフトのバージョンは以下の通りです。

- Adobe Illustrator CC 2015 以降
- Adobe Photoshop CC 2015 以降

プラグインソフトは、本ソフトウェアインストール時に、以下のフォルダーに保存されます。

Windows

C:\Program Files\Epson Software\Garment Creator 2\script

参考

C:\Program Files の部分は、お使いの環境により異なります。Epson Software フォルダーが見つからないときは、検索を行ってください。

Mac

/Applications/Epson Software/Garment Creator 2.app/Contents/Resources/script

参考

Finder からメインメニューの「移動」 - 「フォルダーへ移動」の順でクリックして上記のパスを入力してください。

プラグインソフトの組み込み方

組み込むアプリケーションソフトに応じて、指定のフォルダーにプラグインソフトのファイルを保存します。

Photoshop

「Garment Creator 2 for Photoshop.jsx」を以下に保存します。

Photoshop 本体プログラムがあるフォルダーの、[プリセット] - [スクリプト] フォルダー

Illustrator

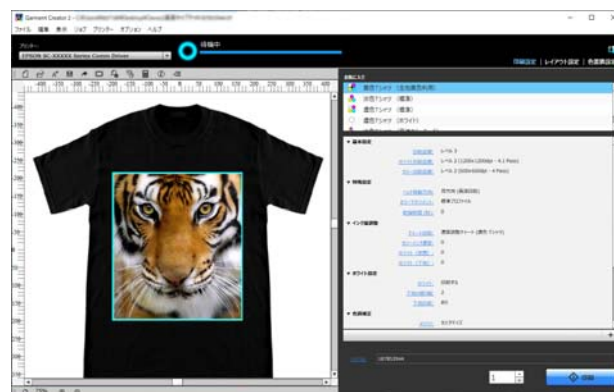
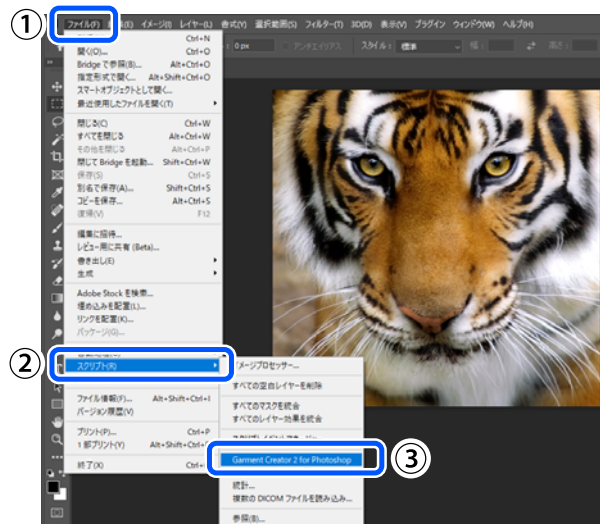
「Garment Creator 2 for Illustrator.jsx」を以下に保存します。

Illustrator 本体プログラムがあるフォルダーの、[プリセット] - [スクリプト] フォルダー

起動方法

組み込みが完了したら各アプリケーションソフトの [ファイル] - [スクリプト] のメニューから [Garment Creator 2 for Photoshop] または [Garment Creator 2 for Illustrator] を選択して本ソフトウェアを起動できます。

アプリケーションソフトのワークスペースに表示していた画像がプレビューエリアに読み込まれた状態で本ソフトウェアが起動します。



本ソフトウェアをアンインストールする

本ソフトウェアのアンインストール手順は以下の通りです。

Windows 8.1/10 の場合

1 コントロールパネルを表示して、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

2 一覧から **[Garment Creator 2]** を選択して、**[アンインストール]** をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってください。

確認のメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

Windows 11 の場合

1 スタートボタン - **[設定]** の順にクリックします。

[設定] 画面が表示されます。

2 画面左側のメニューから **[アプリ]** をクリックします。

3 **[アプリと機能]** (または **[インストールされているアプリ]**) をクリックします。

4 一覧から **[Garment Creator 2]** のメニューボタンをクリックして、メニューから **[アンインストール]** を選択します。

この後は、画面の指示に従ってください。

確認のメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

Mac の場合

以下のファイルを削除します。

/Applications/Epson Software/Garment Creator 2.app

データベースファイルの削除

本ソフトウェアをアンインストールしても、お気に入りの設定値が保存されているデータベースファイルは削除されません。本ソフトウェアを再びインストールすると、同じデータベースファイルを使用できます。

データベースファイルも全て削除するときは、以下の com.epson.GarmentCreator2 フォルダを削除してください。

Windows

C:\Users\ユーザー\AppData\Roaming

Mac

/Users/ユーザー/Library/Application Support

付録

対応画像データ形式

以下の仕様の画像データに対応しています。(2023 年 5 月現在)

画像フォーマット	TIFF* ¹ (8bit, 16bit)	.tif、.tiff、.TIF、.TIFF
	JPEG	.jpg、.jpeg、.JPG、.JPEG
	PNG (8bit)	.png、.PNG
	BMP	.bmp、.BMP
データサイズ	最大 2 GB	
画素数	最大 1000 万画素	
カラーモード	RGB (推奨)、CMYK* ² 、グレースケール、モノクロ 2 階調	
解像度 (ピクセル)	300 dpi (推奨)	
色空間	sRGB (推奨)	

*1 透明の情報を含むデータは、カラーモードが RGB でアルファチャンネルが 1 チャンネルのデータのみ対応
対応圧縮形式は LZW のみ

*2 PNG、BMP フォーマットは非対応

ユーザープロファイル作成時の留意点

ユーザープロファイル作成時は、以下の機器やソフトウェアが必要です。

- 市販の測色器 (色空間:RGB に対応したもの)
- 市販のプロファイル作成ソフトウェア

測色時は、以下の状態で測色してください。

- プロファイル作成ソフトウェアに付属の測色チャートを本ソフトウェアに読み込んでいる。
- 実際に使用する T シャツに合わせて T シャツタイプと印刷設定を設定している。
- 印刷設定の [特殊設定] の [カラーマネジメント] に [色補正なし] を設定している。
- 実際に使用する T シャツに印刷している。